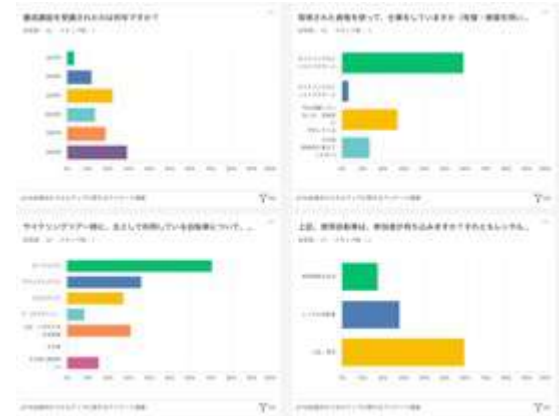


JCTAフェス 2022年7月 スキルアップ講習@北海道ルスツ アンケート調査

アンケート回答期間:2022年 8/30~9/7
全回答数 30 (全会員数:約150名)
標準解答所要時間 1分55秒



スキルアップセミナー概要

日程：2022年7月9日

場所：北海道虻田郡留寿都村内
ルスツリゾート駐車場

参加者：10名

参加費：5,000円/1セッション

講習プログラム

メンテナンス講習：午前・午後

乗り方講習：午前・午後

ガイディング：午後

懇親会：夜の実施

協力：脇山潤

羊蹄ニセコ自転車走行協議会



講師の方からの振り返り

竹之内 悠氏（乗り方講習担当）

ご参加頂きどうもありがとうございました。講習を踏まえ、皆さんがよりスムーズな乗車スキルでガイドをよりガイドらしく楽しくカッコよく発展して頂ければと思います。

講習の内容を今回は少人数で行い、それぞれが確実にスキルアップをするために個々への時間を割きましたが、それぞれのレベルが違うため、どうしてもバラツキが出ました。それぞれのスキルと目的を判断して行うため、偏りが出ます。受講者の意見や発展をあまり考慮せず一方通行のスキルアップ講習を行うべきだったかもしれません。スキルが上がれば上がるほど時間を割く必要があると思います。

写真上から

乗り方講習
メンテナンス講習
ガイディング

多田 裕史氏(メンテナンス講習担当)

メンテナンス講習を担当させて頂き、多くの方にご参加頂きましてありがとうございました。

普通であれば「〇〇の対応方法」のような内容になるのですが、ちょっと異色に「そもそもメンテナンスとはなにか」ということを考えていただくと思い、変わった内容をお伝えさせて頂きました。これをきっかけに皆様のメンテナンスに対する取り組みや考え方が、よりリアルなものになると良いなと思っています。

今回はガイドの方向けということで、初回で手探りなものもありますが、あえての変化球を狙った形となりました。

もちろん実際にはディレイラーやブレーキ等のマニュアル的な作業も必要ではありますが、昨今ではそういった部分はウェブで一般に公開されている動画などで見ていただいても良いのかなと感じています。実際のところ、各ガイドさんによって自転車の技術面へ割ける時間が異なるため、対応能力はバラバラの水準になってしまうことは仕方ないと考えています。

今後は、例えば「ディレイラーの調整方法自体はきちんとしているのに『なぜか』うまくいかない！」といったケースの、『なぜか』を気づけるようになるような講習をしていければと思います。今回はたまたま参加者の中にモデルケースとなりうる車体がありましたが、やはりケース設定があると聞く方も入り込みやすいかと思っています。

実地の講習であれば、少人数で課題となる一台の車体に取り組み、解決方法をディスカッションする等が面白そうかなと考えています。

下田 伸一氏 (実践ガイドング講習)

■日時 :2022年7月9日 13時37分~16時38分

■ルート :ルスツリゾート発 → 真狩村細川たかし像 → ルスツリゾート着 ■距離 :30km

■所要時間:約 3 時間(乗車移動時間 1 時間 47 分間)

■参加者 :30代~70代 男女6名(男性2名、女性4名)

●ツアー中の工夫やコンセプトについて ・事前にツアー目的を伝え安全に帰ってくる為の考え方を説明 ・なるべく車通りの少ない道を選び、北海道らしい景色を堪能できるルートを走行 ・複数台での走行により得られる効果と共同走行一体感によるツアーの楽しさを感じてもらう ・ツアー中、個々のペースで自由に走り写真撮影が出来る時間を設け満足度を高めることで同速度走行
圧力からの解放も感じてもらう ・車では通り過ぎてしまう小路や公園内のサイクリングロードなどを走り、遊び心を足すことで自転車
の持つ可能性や楽しさを感じてもらう ・地域の説明に加え、小川に足を浸して水の冷たさを感じてもらうなど自転車以外の体験で知的/体感的
好奇心を満たす工夫を取り入れる ・ワンガイドオペレーションの場合、走行順や配置で協力してもらいながら信用できる方をテールポジションに据えこちらの考えを伝えておくなどコミュニケーションを大切に
にする ・事前にアクセス容易な場所に車両を配置しておくことで体力不足の方のケアや不測の事態に対応できるよう備えておくことも有効。
ギブアップ OK ツアーは初心者参加の心理的ハードルが下がるが
始めからアナウンスするとモチベーションを下げかねないので注意し、
説明しない場合もあり ・参加者に走ってもらったエリアを好きになって
もらう工夫をすることで再来訪意向を高める ・説明は大きな声で分
かりやすく伝えるようにし、威圧感を与えないように気を付ける

アンケート概要(1)

全回答数 : 30名
 参加した : 8名 (全参加者10名)
 回答率80%
 参加しなかった : 21名

(1) 参加しなかった理由について

回答の選択肢	回答数	割合
▼ 日程が合わなかった	9	42.86%
▼ 場所が遠すぎた	12	57.14%
▼ 参加したい研修がなかった	0	0.00%
▼ 開催されることを知らなかった	0	0.00%
▼ その他(具体的に)	0	0.00%
合計	21	

日程と場所
 が合わないことが
 原因

(2) 日程について 都合の良いのは？

回答の選択肢	回答数	割合
▼ 週末だったので便利だった	6	31.58%
▼ 平日の方が良かった	4	21.05%
▼ どちらでもない		36.84%
▼ その他(具体的に)		10.53%
合計		

平日と週末に
 大差はない

(3) 次回も参加したいか？

回答の選択肢	回答数	割合
▼ とても参加したい(開催地が遠くても参加したい)	3	14.29%
▼ 近ければ参加したい	15	71.43%
▼ どちらとも言えない	3	14.29%
▼ 参加の可能性が低い	0	0.00%
▼ 参加しない	0	0.00%
▼ 参加するとした方へ。どんな内容がよいですか？	0	0.00%
合計	21	

開催地
 が近い
 かどうか
 が参加
 検討の
 条件

アンケート概要(2)

(4) 交通手段

回答の選択肢	回答数	
飛行機	20.00%	3
電車	6.67%	1
車 (2時間以上のドライブ)	13.33%	2
車 (2時間以内のドライブ)	13.33%	2
地元	13.33%	2
その他 (具体的に)	33.33%	5

北海道開催のためか
飛行機と車での移動が
多かった。
地元、かつ車での移動は
当然ながら、最も多い。

その他：自転車、フェリー&車など

(5) 研修は有益でしたか？

回答の選択肢	回答数	
とても有益だった	31.25%	5
有益だった	37.50%	6
普通	25.00%	4
あまり有益ではなかった	0.00%	0
有益ではなかった	0.00%	0

(6) 期待に叶っていたか？

回答の選択肢	回答数	
とても期待に叶っていた	20.00%	3
期待に叶っていた	33.33%	5
普通	26.67%	4
少し期待はずれだった	0.00%	0
期待はずれだった	0.00%	0

共に検討の余地あり

主催より：
より良い研修を
目指して準備を
したい

コメントから：

レクチャー形式でいろいろ教えてくれるのかなと思っていましたが、ケースバイケースで教えてくれたのは結果的には良かった。ただ教本のようなものを期待していたところはある。

アンケート概要(3)

(7) 今回の研修で一番よかったことは？

- JCTA会員と知り合いになれ、情報交換ができたこと
- 個別に質問できる機会があったのはよかった。こちらをもっと何を質問したいのかを明確にして入っていけばさらに有意義になったかなと思います。
- ガイドの現場と言う「不便な状況下」で、どこまでメンテをするべきか、しないか。と言う根本的なテーマから掘り下げてのお話は面白かった。
- 和気藹々とできたこと。初めましての人同士でも連帯感を感じられたこと。
- それぞれが持っている自転車の状態をチェックしながらメンテナンスの講習をしてくれたこと
- 長年自転車に乗っているのに知らなかったことや気づかなかったことを知れたのが一番貴重で良かったです
- 様々なバックグラウンドをもっておられる方々と話げできたことが有益でした。
- 天気
- ツアー型サイクリングの実体験とフィードを得る。

アンケート概要(4)

(8)ご意見、ご感想など？

- 企画開催をありがとうございます。関東、近畿、東海地区での開催を希望します。
- 質の高いガイドとは何か？ 演出の部分をみんなで話し合ったり、こういうガイドになりたいというところから具体的なサービスを考えていくなどツーリズムとしてさらに実践的な内容を盛り込んで欲しい
- メンテナンス講習については、『そもそも論』を聴かせていただきましたが、いざサイクリングツアーの集合時や、実施中の不具合については、『今ここでそんなことを言ったって・・・』と言うものになってしまうなと思いました。いわゆる根本治療な部分です。もちろんとても重要なことですし、ガイドの保有する知識としては得ておくべきものなんでしょうけれど、今回の講習内での意図としては、それは踏まえつつも「今とりあえずこれでしのぎましょう」的な対処療法の部分のスキルを得ましようと言うイメージではなかったかと思います。その点は今後の講習内容の構築においては留意すべきかと思いました。
- 今回は少人数で先生方に沢山質問でき、とても充実した時間でした。
- 大変お世話になりありがとうございました。是非また続けて下さい。
- 座学のプログラムももう少し入れていただければより効果的になるのでは
- I'm looking forward to the next one.